

第105回

# 全国高校野球

## 青森大会

第9日

第105回全国高校野球選手権青森大会は第9日の25日、弘前市のはるか夢球場で八工大―弘前学院聖愛、青森山田―八学光星の準決勝2試合を行った。八工大―は杉山の3点本塁打などで6点を奪うと、聖愛の反撃をしのぎ6―3で勝利した。八学光星は洗平が青

### 光星 あす決勝 工大―

森山田打線を完封。藤原が本塁打を放つなど11安打で5点を挙げ快勝した。八工大―八学光星の決勝カードは2年連続で、今春の県大会とも同じ組み合わせ。八工大―は12大会ぶり、八学光星は2年連続の甲子園出場を懸け、27日午後1時から同球場で決勝を戦う。

# 光星・洗平 隙なし完封

## 山田高打線 散発6安打



【八学光星―青森山田】被安打6、7奪三振で完封した八学光星の洗平―はるか夢

【評】八学光星が4試合連続の桁安打でライバル校を破った。初回、中澤恒の中前適時打で先制。四回は藤原が左越え本塁打を放った。続く五

回も藤原、池田の連続適時打で3点を挙げ、突き放した。先発洗平はストライク先行の投球で要所を締め完封した。

青森山田は先発小嶋が4回、5失点と試合をつくれず、打線も散発6安打に抑えられ、犠打や走塁のミスも重なり本塁制が遠かった。

よる球の熱投で、強力打線を完封した。八学光星の先発洗平は、初戦から全てコールド勝ちの青森山田を寄せ付けず、高校公式戦で自身初の完封をマーク。「味方の守備にも助け

## リズムに乗り 緩急133球 洗平

### ヒーロー

られた。完封は自分の財産になる」と達成感を口にした。仲井監督から「初回から飛ばしていけよ」と背中を押されてマウンドに立った洗平。今大会はボールが高

めに浮く場面が多く、低めに集めることを意識して投球。捕手藤原と「各回、先頭打者を出さないようにしよう」と取り決めて臨んだ。課題とする初回を三者凡

退で切り抜け、リズムに乗った。「足が速い、一発があるなどいろいろな打者がいる。一人一人のタイプを頭に入れてから投げる」スライダー、チェンジアップ、カーブと多彩な変化



球を織り交ぜながら直球で攻めて三振を奪い、スコアボードに0を並べ続けた。指揮官は「チームを勝たせてくれた十分すぎるヒットシンク」と手放しに褒めた。夏運朝へ向け「常に完封する気持ちでマウンドに立つている。厳しい戦いになると思うが、油断せず戦う。八工大―に敗れた春の県大会の雪辱に燃える青番号「10」は、完封に浮かれる」となげき切った。（東方好寿）

藤原、1発含む3打点。八学光星の藤原が、本塁打を含む安打3打点と打線をけん引した。

「春、打てなかったのが夏にかけて意識高くハッティング練習に取り組んできた成果が出た」と手応えを口にした。

四回、先頭打者で右打席へ「待っていた」という内角直球を強振し、左翼スタンドに運んだ。五回は「真つぐを打ったから次は変化球が来る」との読みが的中。左越えが点適時打でチームを勢いづけた。準決勝を終え、今大会は16打数8安打11打点と絶好調。決勝へ向け二回で負けたら意味がない。気を抜かず、自分たちらしい打撃で勝たせたいと力を込めた。

4回表、八学光星無死、藤原が左越えに本塁打を放つ。0